



本日は第2学期終業式でした。

思い返すと酷暑の中で始まったこの2学期でしたが、今では朝晩の寒さも厳しくなり、この「2学期」という学期の特殊性をあらためて感じております。そんな2学期でしたが、一中生はあらゆる場面で活躍と成長を見せてくれました。保護者や地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、本日の終業式では次のようなことを生徒たちに話しました。

- (1) 現代社会において、企業が求める人材は「自己マネジメント力」に優れた人間だと言われています。「自己マネジメント力」とは、
- ①自分の長所や短所を正しく理解する。
 - ②長所を伸ばし短所を克服するためには何が必要かを考え、成長のための計画を立てる。
 - ③計画に沿って実行する。その際、スモールステップでの目標（小目標）を掲げて取り組むことが有効である。
 - ④取り組み状況を、「成果」と「課題」に分けて評価（反省）する。
 - ⑤評価（反省）したことをもとに、改善点を明確にして対策を立て、実行する。

これらは、校長先生が1学期の始業式や終業式、2学期の始業式で言った、

- 1年後に理想とする自分の姿を思い描いて、それを実現するために何をしなければならないかを明確にして、スモールステップの目標を設定してそれを確実にやり遂げる。
- これまで「計画通りに生活できなかった」と反省した経験のある人は、その理由を分析し、何がいけなかったのかを明確にして、どうすれば良かったのかを突き止めないことには、また同じ反省の繰り返しになってしまう。

ということと全く同じです。

同じ反省を繰り返す人間に成長はありません。夏休みの反省を生かして冬休みの生活を有意義にすること。また、2学期の反省をしっかりと行って、3学期につなげることが、皆さんが今後成長するために必要なことです。

- (2) これも、これまで何度も繰り返し行ってきたことですが、相手に心や気持ちの伝わるあいさつはできていますか？

相手に心や気持ちが伝わるあいさつをするためには、

- ①先にあいさつの声をかけること。
- ②元気にあいさつすること。
- ③相手の顔を見てあいさつすること。
- ④表情であいさつすること。

が大切です。

まずはこの冬休み、家族に対して、「おはよう。」「おやすみ。」「いただきます。」「ごちそうさま。」「ありがとう。」「ごめんなさい。」のあいさつや声かけを、自分から先に、元気に、相手の顔を見て、表情豊かにしてみてください。

命の大切さを・・・

学校では、授業はもちろん、それ以外にも様々な教育活動を行っています。それらの教育活動の中で直接「命」に関わるものは何かと言えば、それはやはり水泳の授業だと思います。

学習指導要領（全国で一定水準の教育になるよう、文部科学省がそれぞれの教科等の目標や大まかな教育内容を定めたもの）の中でも、水泳の学習では、各種泳法を学んで技能と体力の向上を図るとともに、水中で体を安全に保つための能力を養うという視点を示しています。私が担任をしていた時には、水泳の授業を見学したがる子に対して、自分の身（命）を守るために大切な学習であることはもちろん、将来自分の子どもの命を救うことができる親になるために必要な学習であることを話してきました。

また、現在はそれ以外にも「救急救命措置」として、心肺蘇生やAEDの使い方等を行う学校が多くなってきました。本校においても「CPR（CardioPulmonary Resuscitation）講習会」を、12月10日（月）に2年生全員が参加して開催しました。この講習会は、NPO法人福島ACLS教会・福島県立医科大学救急医療学講座の協力を得て、心臓マッサージの方法やAEDの使い方を学ぶもので、本校では毎年2年生が取り組んでおります。



〔心臓マッサージを行う生徒〕



〔AEDを使用しての心肺蘇生実習〕

【救急救命の流れ】

- 1 反応を確認する。
- 2 助けを呼ぶ。
 - 119番通報・AED持参指示
- 3 胸骨圧迫（心臓マッサージ）
 - 胸の真ん中を、重ねた両手で強く・速く・絶え間なく圧迫
 - 毎分100回のリズム
- 4 AEDの到着と準備
 - (1) 電源投入→音声メッセージ
 - (2) 電極パッドを貼る。
 - (3) 自動で心電図の解析開始。
 - (4) 電気ショック
 - 「離れてください！」
- 5 心臓マッサージを再開
- 6 AEDと心臓マッサージの繰り返し

私たち教職員も、救急救命講習の受講を義務づけられており、全職員が「普通救命講習修了証」を持っております。また、その取得した技術が錆び付くことがないように、計画的に講習を受講しております。（本校では年に1回開催し、実は本日の午後、生徒が帰った後に平消防署職員のご指導のもと、全職員参加で行います。）保護者の皆様も機会があればぜひ受講してみてください。